

ドローンによる安心・安全なレジリエンスある社会の実現に向けて・・・

【防災資格団体・自治体/消防・ドローン資格団体における相互の防災/減災力向上案】

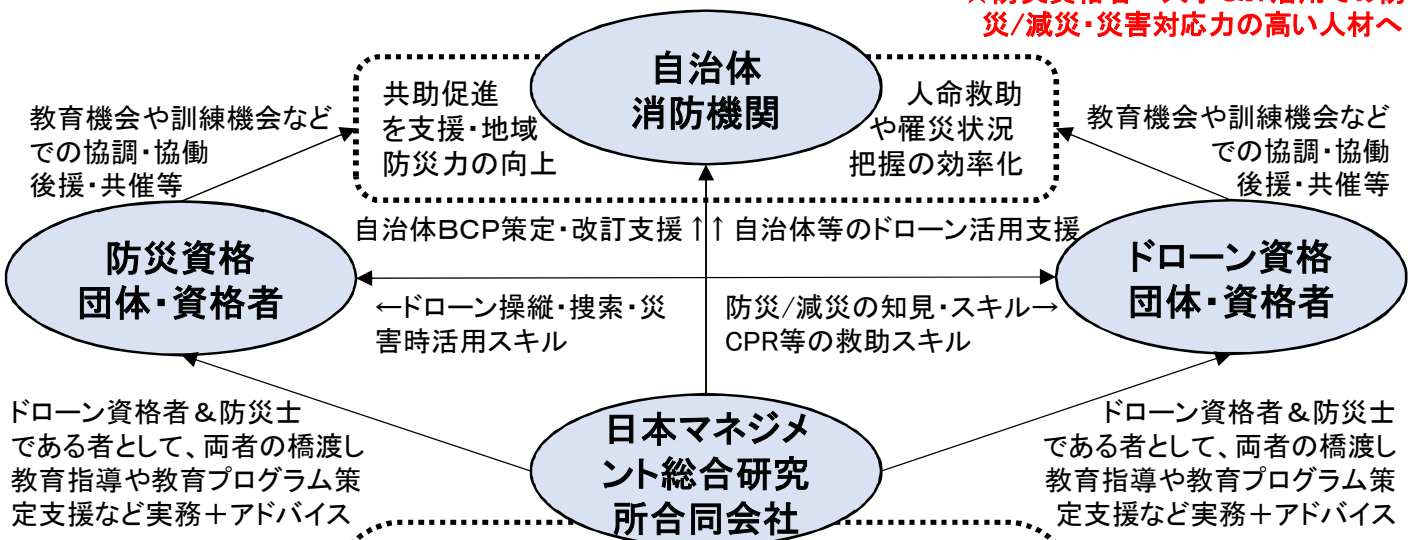
災害大国の日本において、日々、災害リスクは激変する中で、旧来通りの防災/減災対策だけで十分でしょうか。人手では対応できない捜索・レスキュー・災害対策に、ドローンの活用が期待される一方、かたやドローン資格団体は防災に関する知見・スキルが低いままで、かたや、防災資格団体は防災/減災の高度化に対応できないままで、本当に社会に役立つ形で防災/減災を担う人材(防災関連資格者・ドローン操縦資格者)を排出できるでしょうか。

また、自治体や消防において、BCP策定や訓練だけでなく、実践面でどれだけドローン活用などの高度化によって、少しでも多くの命が救える実態が整っているでしょうか。自治体の中には、BCP策定や実効性向上への改訂や実践的訓練すらおぼつかない現状のままで良いのでしょうか。

四者がそれぞれに傍観することなく、また、どこかが一方的に利得をせしめることもなく、相互に協調・協働して安心・安全な社会を担う人材育成体制やBCP策定をはじめとするレジリエンスを整えるべく、本案にて社会に求められる対応を提示致します。

★ドローンを操縦する人＝不審な人ではなく、救命救助や防災・減災の知見とスキルある安心安全の守り人として、各組織が連携して自助・共助・公助を高度化・実効性向上へ
★防災資格者＝人手&IT活用での防災/減災・災害対応力の高い人材へ

- コンセプト①: **防災/減災/災害救助等の高度化・強化**
- コンセプト②: **自治体の防災/減災/災害対応力の強化**
- コンセプト③: **ドローン操縦者＝安心安全を担う人材**



戸村智憲と防災
防災士・第三種放射線取扱主任者・第一級小型船舶操縦士・陸上/海上/航空特殊無線技士・AHA BLS HCP・民間人テロ対策セルフディフェンス指導・ハプニングカードシャッフル式トレーニング開発者

- 【世界初のドローン+防災での戸村智憲の活動例】**
- 「ドローン災害レスキューガイドライン」
<https://www.jmri.co.jp/DDAT.DDAP.guideline.Ver.1.01.TOMURAandJMRI-LLC.pdf>
 - 「災害時ドローン派遣チーム(DDAT)構想」
<http://www.dreamnews.jp/press/0000159898/>
 - 「ドローンエアポート構想」(地方創生も付加)
<http://www.dreamnews.jp/press/0000158546/>
 - 「ドローン事故調査委員会」構想
<http://www.dreamnews.jp/press/0000163096/>
 - 「災害危機管理研究会」指導 (戸村→自治体・公務)
<https://www.jmri.co.jp/BCP.Public.2017.Oct.13.Tomura.pdf>

戸村智憲とドローン
ドローン操縦資格・安全運航管理資格・米国防空局飛行機パイロット・世界的パイロット団体の日本支部AOPA-JAPAN初代コンプライアンス委員長・国交省i-Construction有識者会員など

- 施策①: 共同でのセミナー等の開催(公開での一般向け教育機会)
 - 施策②: 資格団体相互の啓発・交流・意見交換(資格者の学習交流会等)
 - 施策③: 自治体への内閣府基準でのBCP策定・改訂指導の提供・相談・支援等
 - 施策④: 四者共同での各自治体を開催地とした地方創生+防災+ドローンでの地域住民や一般企業等への普及啓発・教育機会創出(自助共助を加速する防災資格&ドローン資格の人材育成・育成過程そのものも地方創生策)
 - 施策⑤: 両資格関連団体でのテキスト作成と上位資格や専門コース等の設定
 - 施策⑥: 安心安全がキーワードの防災/ドローン資格者での避難施設等警備演習
 - 施策⑦: 各消防機関での総合防災訓練・救助訓練・避難訓練等へのドローン活用
- ※①～⑦で要望により無理ない範囲で戸村が実務面・アドバイザー等で支援を実施

戸村智憲プロフィール
<https://www.jmri.co.jp/Profile.tomura.pdf>





企画・著作: 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智憲
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル5階 電話:03-6894-7674
FAX:03-6800-3090 メール:info@jmri.co.jp Website: <https://www.jmri.co.jp/>

